

NCAC<Net Computing Academy>事例のご紹介

エコー電子工業株式会社 様

開催日： 2019年8月2日/ 8月9日
研修期間： 2日間
参加人数： 12名 (受講者所属:ソリューション営業部)
講師： 津田 邦和

目的と課題

- ・クラウドのメリット・デメリットとモデル選定方法を理解し、最適かつ具体的な提案方法やクラウド事業の利益の把握、プロセスと考え方を習得する。
- ・クラウドでストックビジネスを増やしたい。
- ・自社の5年後、10年後を考え、生き残っていくためにどこにフォーカスをあてていくのかヒントを得たい。

興味を持った内容と気づき

- 1日目 | テキストによる研修+販売ロールプレイング
NCACベーシック&ビジネスモデルコース
NCACセールス&マーケティング
- 2日目 | テキストによる研修+事業計画策定ワークショップ
NCACプロジェクトプランニング

Q：NCACを受講して興味をもった内容はありましたか？

- ・意外にも過去の歴史や論文に今に通じるヒントがありました。
- ・概論として知っているつもりが多かったと自覚。改めて明確に論点と訴求点明確になりました。



Q：ロールプレイングやワークショップについて、何か発見はありましたか？

- ・実際に意見を出し合って進める事で、短時間でも比較的充実した内容に仕上がった。特にモデル選定やコスト比較においては、実際の商談を事例に検討できたので良かった。
- ・相手チームの提案内容を見ることで、逆に客観的に自分が何ができて何が足りていないかなどを理解できた。
- ・お客様目線で提案を考えられた。クラウド提案における具体的な訴求点を理解できた。



研修を受けて

企画者の感想



池内 章雄 様

わが社の大きな販売戦力の柱の一つが『サブスクリプションによる安定経営を目指す』です。それには、クラウドビジネスの立ち上げが急務と考えています。しかし、課題は予算を考えた場合どうしても採算が合わず、自社製品の創造は時間が掛かる、等の理由でなかなか前に進まない状況でした。そんな中、津田先生と出会い、クラウドビジネスの講義を幹部向けに行って頂きました。講義は、コンピュータの歴史から始まり、なぜ今クラウド時代なのかの必然性を知り、それによりクラウドのメリットを理論的に説明ができる自信が生まれ、何よりも利益が創出できることを理解できました。受講者全員が講義に前のめりになっていく様子を見て、有意義な企画をしてよかったと思っています。今後は、この研修を研修のみに終わらせることなく、確実に成果を出す活動を計画的に行ってまいります。

受講者の感想

- ・ 今後は、基盤として不可欠なものであり選定基準などを明確にすることで、お客様への訴求力が高まると感じた。首都圏に比べて、中小や零細が多い九州エリアではこれからようやくクラウドが話題になると思われる。提案時にはコスト比較も重要になるが、お客様のメリットや事業継続などを主にして提案を進めていきたい。
- ・ オフコンからオープン化の時代と似たような変化が情報業界を襲うことに危機感を感じます。クラウドベンダとして生き残る覚悟をもって、他社に先んじてクラウド提案を主導することが重要だと感じました。ファーストアプローチは必ずクラウドで提案すると全社方針を決定するなど、社としての方向付けが肝要。
- ・ クラウド以外の多様な話も興味深く聞かせて頂きました。特に、新しい技術をどうビジネスに活かしていくかを常に思考することは普段からの思考を変えるきっかけになると思いました。
- ・ 先生（講師）の業界知識や先見性が他のセミナー講師とは別格だと感じました。
- ・ 事実を元にしたわかりやすさ、自然と参加意識が高くなるように参加者を巻き込みながら進める講義、体系的にまとめて頂いているテキスト、各人に対する質問に対してしっかり答えて頂ける。
- ・ 他の研修よりも講師とのコミュニケーションが多く、身についた実感が大きい。またロールプレイングを通じて学んだ手法は、具体的で実践にも生かせる内容であった。
- ・ 中堅社員はもちろん、若手社員にも受講させて、目の前に明るい未来が開ける可能性を示唆したいです。

コメント

皆様とても熱心に受講されていて、クラウドがもたらす顧客メリットを考え提案することの重要性も理解していただくことができたと思います。

九州でも昨今、クラウドの会合が開催され、ビジネスが展開されつつあります。クラウドマーケットは確実に拡大していて、今後5兆円になるビジネスであり、SORを含めた本格的なクラウド時代が到来します。これから若手社員が自社のことを考え、高いモチベーションを維持していただくためにも、アンテナを張って常に最新の情報を得る体制や今回の研修で学んだことを実践して、クラウド事業を推進していただけると幸いです。

おそらく今回のクラウド★プロデューサー教育は九州で初だと思います。ぜひ、九州の企業としてクラウド市場の爆発的拡大の波に乗り、成功することを祈念しています。

